

フットサル活動マニュアル新旧対照表

2022. 10. 10

No.	ページ	項目	現行	新（改正）
1	P3	第3 マニュアルの範囲 1 各種大会 (1) 各種リーグ戦	北海道リーグ、北海道女子リーグ、ブロックリーグ、大学リーグ、U-18 リーグ、____、NADESHIKO リーグ、U-8.U-10 リーグ____	北海道リーグ、北海道女子リーグ、ブロックリーグ、大学リーグ、U-18 リーグ、 <u>U-15 女子リーグ</u> 、U-8.U-10 リーグ <u>など</u>
2	P4	第4 活動の留意点、運営要領 1 共通事項 【事前の対応】 (1) 主催者（主管者）の対応 ④ 大会・試合日程の対応	同一会場で1日に実施する試合数は原則4試合を上限とする。ただし、2コート以上設置できる会場で、コートの間隔が十分とれる会場（例えばフルサイズコート2面以上）においては、コートごとに4試合を上限とする。	同一会場で1日に実施する試合数は原則4試合を上限とする。ただし、2コート以上設置できる会場で、コートの間隔が十分とれる会場（例えばフルサイズコート2面以上）においては、コートごとに <u>原則</u> 4試合を上限とする。
3	P5	⑤ 会場（施設管理者）との確認・調整	・「北海道コロナ通知システム」の登録・活用について、確認・調整する。	削除
4	〃	(2) 参加者の対応 ※ 参加者の範囲	チーム（選手・役員スタッフ、引率者、____）、運営役員・スタッフ、審判員、ボランティア、メディア、研修会・会議出席者	チーム（選手・役員スタッフ、引率者、 <u>随行者</u> ）、運営役員・スタッフ、審判員、ボランティア、メディア、研修会・会議出席者 <u>※随行者は、チームの関係者（選手、役員スタッフの家族等）に限定し、入場できる人数は大会ごとに会場の形状等を考慮して主催者側で決定する。</u>
5	〃	(2) 参加者の対応 ※ 参加者の範囲	<u>※2020 年度の各種大会は、無観客を基本とする。</u> <u>※2021 年度も無観客を基本とするが、感染状況により（北海道の警戒ステージが1の場合）、感染対策を講じ観客を入れて大会を実施できることとする。</u>	削除 <u>※北海道の警戒ステージが2以上の場合は、無観客を基本とするが、感染状況により（北海道の警戒ステージが1の場合）、感染対策を講じ観客を入れて大会を実施できることとする。</u>

No.	ページ	項目	現行	新（改正）
6	P5	(2) 参加者の対応 ② 健康チェックシートの提出	全ての参加者は、2週間前から検温・体調の確認を行い、指定された「健康チェックシート」を当該大会・事業の主催者（主管者）へ提出 <u>すること。</u>	全ての参加者は、2週間前から検温・体調の確認を行い、指定された「健康チェックシート」を当該大会・事業の主催者（主管者）へ提出 <u>し、主催者（主管者）側で確認後は、チーム又は個人で保管（4週間）すること。</u>
7	P5～6	※健康チェックシートの記載事項	・過去 <u>14日以内</u> に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合	・過去 <u>7日以内</u> に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
8	P6	③ 参加の見合わせ	※ 過去 14 日以内に国内の感染拡大地域との移動があった方は、感染対策担当者へ申し出ることとし、移動期間中の行動によっては自主的に参加を見合わせる <u>こと。</u>	削除
9	P8	【会場における当日の対応】 (1) 試合前の対応 ② 無観客の表示・徹底	_____ 玄関、観客席の出入口等に無観客の表示を行い、観客が入場しないよう常に監視すること。	<u>無観客で実施する場合は、</u> 玄関、観客席の出入口等に無観客の表示を行い、観客が入場しないよう常に監視すること。
10	〃	④ 健康チェックシートの回収	④ 健康チェックシートの <u>回収</u> 全ての参加者より、記載した健康チェックシートを回収する。 <u>。</u>	④ 健康チェックシートの <u>確認・保管</u> 全ての参加者より、記載した健康チェックシートを <u>主催者（主管者）側で確認し、確認後はチーム又は個人で保管（4週間）すること。</u>
11	〃	(2) 会場設営・競技会運営の対応 ① 競技室	・試合後の本部席、両チームベンチへの挨拶は <u>行わない。</u>	・試合後の本部席、両チームベンチへの挨拶は、 <u>社会的距離を保って行う場合は認められる。</u>
12	P9	② ウォーミングアップ会場	・ウォーミングアップ終了後は、手洗い _____ を徹底する。	・ウォーミングアップ終了後は、手洗い <u>又は手指消毒</u> を徹底する。
13	P10～ P11	(3) マッチコーディネーションミーティング（MCM）におけるチームへの伝達事項	当該チームは、_____ 代表 1 名のみの出席とする。 ・試合後に両チームベンチ、本部席への挨拶は <u>実施しない。</u>	当該チームは、 <u>原則</u> 代表 1 名のみの出席とする。 ・試合後に両チームベンチ、本部席への挨拶は、 <u>社会的距離を保って行う場合は認められる。</u>

No.	ページ	項目	現行	新（改正）
14	P11	(4) 来場者対応（観客等）	※2020年度は基本的に無観客 ※2021年度も無観客を基本とするが、感染状況により（北海道の警戒ステージが1以下の場合）、以下の対応により、観客を入れて大会を実施できることとする。 ・入場時に非接触型の体温計による来場者の体温チェックが望ましい。<u>体温チェックが難しい場合は、健康チェックシートを提出させる。</u>	削除 ※<u>北海道の警戒ステージが2以上の場合は、無観客を基本とするが、</u>感染状況により（北海道の警戒ステージが1の場合）、以下の対応により、観客を入れて大会を実施できることとする。 ・入場時に非接触型の体温計による来場者の体温チェックが望ましい。 以下削除
15	P12	(5) メディア対応 事前対応	▶過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合 ・健康チェックシートを作成し入場時に提出する。	▶過去7日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合 ・健康チェックシートを作成し入場時に提出する。<u>なお、健康チェックシートは運営側で確認後、個人で保管（4週間）する。</u>
16	P13	【事後の対応】 ① 健康チェックシートの保存	① 健康チェックシートの保存 万が一感染が発生した場合に備え、競技会当日に参加選手・スタッフ、メディア、運営関係者から提出された健康チェックシートは、<u>個人情報の取り扱いに十分注意しながら、保存期間（少なくとも1ヶ月間）を明記した上で保存しておくようにすること。</u>	① 健康チェックシートの<u>確認・保管</u> 万が一感染が発生した場合に備え、競技会当日に参加選手・スタッフ、メディア、運営関係者から提出された健康チェックシートは、<u>主催者（主管者）側で確認した後、チーム又は個人で保管（4週間）すること。</u>
17	P14	2 個別事項 (1) リーグ戦 【事前の対応】	・チームの感染対策担当者より「健康チェックシート」は、個表と総括表の両方を提出させる。	・チームの感染対策担当者より「健康チェックシート」は、個表と総括表の両方を提出させる。<u>なお、個表は運営側で確認後、チーム又は個人で保管（4週間）する。</u>
18	〃	〃	・エントリー用紙は、<u>運営側で準備する。</u>	削除

No.	ページ	項目	現行	新（改正）
19	P14	【会場での対応】 ② 時間差によるチーム集合（入場）等	・ _____ 試合の為、ピッチに行く際には <u>すべての荷物をピッチに持参のこと。</u>	・ <u>控え場所を複数のチームで兼用する場合は、</u> 試合の為、ピッチに行く際に <u>すべての荷物をピッチに持参のこと。</u>
20	P15	④ 割当の業務（審判、記録、ボールパーソン）	・ 審判員（主審、第2審判、第3審判、TK）、記録員は _____ 運営側で行う _____。 ・ ボールパーソンは _____ 配置しないこととするが、配置する場合はマスク、ゴム手袋を着用して行う。	・ 審判員（主審、第2審判、第3審判、TK）、記録員は、 <u>原則</u> 運営側で行う <u>が、感染状況によりチーム割り当ても可とする。</u> ・ ボールパーソンは <u>原則</u> 配置しないこととするが、 <u>感染状況により</u> 配置する場合はマスク、ゴム手袋を着用して行う。
21	〃	⑤ 試合数	リーグ戦において同一会場で1日に行える試合は、4試合を上限とする。 ただし、試合と試合のインターバルを _____ 1時間確保すること。	リーグ戦において同一会場で1日に行える試合は、 <u>原則</u> 4試合を上限とする。 ただし、試合と試合のインターバルを <u>原則</u> 1時間確保すること。
22	〃	【事後の対応】 ① リーグ日程途中での感染者または濃厚接触者の発生	・ リーグ戦の途中で感染者が発生した場合、 <u>リーグは一時中断（最低2週間）し（または当該チームを2週間出場停止とし）、リーグ全体の順位は付けないものとする。なお、それ以降のリーグの継続については、状況により判断する。</u>	・ リーグ戦の途中で感染者が発生した場合、 <u>感染状況により試合の実施やリーグ継続の可否を主催者（運営）側で判断する。なお、リーグを中断した場合は、順位の決定等についてリーグごとに判断する。</u>
23	〃	(2) トーナメント大会 【事前の対応】	・ チームの感染対策担当者より「健康チェックシート」は、個表と総括表の両方を提出させる。	・ チームの感染対策担当者より「健康チェックシート」は、個表と総括表の両方を提出させる。 <u>なお、個表は運営側で確認後、チーム又は個人で保管（4週間）する。</u>
24	P17	(3) 普及事業 【事前の対応】	・ チームの感染対策担当者より「健康チェックシート」は、個表と総括表の両方を提出させる。	・ チームの感染対策担当者より「健康チェックシート」は、個表と総括表の両方を提出させる。 <u>なお、個表は運営側で確認後、チーム又は個人で保管（4週間）する。</u>

No.	ページ	項目	現行	新（改正）
25	P18	(4) 選抜活動 トレーニングにおける対応 【会場での対応】	①集合時に健康チェックシートをスタッフへ提出し、検温も併せて行う。検温の結果、37.5℃または平熱より1℃高い場合は参加を禁止し、帰宅すること。また、入場時に手指等のアルコール消毒を徹底する。アルコールはスタッフが用意する。	①集合時に健康チェックシートをスタッフへ提出し、検温も併せて行う。検温の結果、37.5℃または平熱より1℃高い場合は参加を禁止し、帰宅すること。また、入場時に手指等のアルコール消毒を徹底する。アルコールはスタッフが用意する。 <u>なお、健康チェックシートは、スタッフが確認後、個人で保管（4週間）する。</u>
26	P18～ P19	【遠征先・会場での対応】	①集合時に健康チェックシートをスタッフへ提出し、検温も併せて行う。検温の結果、37.5℃または平熱より1℃高い場合は遠征参加を中止し、帰宅すること（体調がすぐれない場合は事前にスタッフへ連絡すること）。	①集合時に健康チェックシートをスタッフへ提出し、検温も併せて行う。検温の結果、37.5℃または平熱より1℃高い場合は遠征参加を中止し、帰宅すること（体調がすぐれない場合は事前にスタッフへ連絡すること）。 <u>なお、健康チェックシートは、スタッフが確認後、個人で保管（4週間）する。</u>
27	P20	【参考資料】	●（公財）日本サッカー協会「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン第7版」（2020年10月12日版）及びチェックリスト ●（公財）日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（2020年5月29日改訂版） ● スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（2020年5月25日版）	●（公財）日本サッカー協会「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン第11版」（2022年5月19日版）及びチェックリスト ●（公財）日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（2021年11月5日更新版） ● スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（2021年11月16日版）